

＜第 11 回 JOC スポーツと環境担当者会議＞出席報告

- 開催期日 : 平成 27 年 2 月 19 日 14:00 ~ 17:00
- 場 所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター 1 階 大研修室
- 主 催 : 公益財団法人 日本オリンピック委員会 (JOC)
- 出席者 : JOC 役員、スポーツ環境専門部会員、加盟団体環境担当者、約 50 名
- テ ー マ : 「スポーツ界が目指す持続可能な社会づくり」

東京 2020 に向かって競技団体が実践できる取り組み

◆ 会議概要

本会は、スポーツを通じた持続可能な社会づくりへの理解を深めると共に、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた関係者・関係団体との地球環境保全への連携、実践活動の推進を図ることを目的に開催されました。

平岡 JOC 常務理事兼総務委員長の開会挨拶を皮切りに、第 1 部では「東京 2020 に向け環境省としてスポーツ界に求めるもの」について上田康治 環境省総合環境政策局総務課長より環境問題の変遷、スポーツと環境の関係および具体的な取り組み例の紹介（カーボンオフセット・ESD=Education for Sustainable Development 等）をまじえて説明がありました。

第 2 部では大塚眞一郎 JOC スポーツ環境専門部会部会長のコーディネートにより、(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会大会準備運営部 本橋持続可能性担当課長から、東京 2020 の取り組み、玉利 JOC スポーツ環境専門部会員(サッカー協会)によるクリーンサポーター活動やペーパーレス活動等によるサッカー界の取り組み、西山 JOC スポーツ環境専門部会員(横浜市)によるブルーカーボンとブルーリソースを一体として脱温暖化に取り組み、海辺環境の魅力向上により親しみやすい海づくりを目指すトリアスロン協会と共同での「横浜ブルーカーボン」の事業説明とユニークな取り組みについて説明がありました。

最後に、東京オリンピック・パラリンピックを控え、今後の環境活動の展開についても活発な意見交換が行われ、スポーツ界と自治体や行政との連携プレーを含む更なる環境保全・啓発活動の推進を目指すことを確認し散会しました。

(丸笹記)